

第二回「贈りたい本の市」実施報告

竹田 泉

1. 日 時：平成27年11月8日（日） 10:00～15:00
2. 場 所：甲府駅北口ペデストリアンデッキ
3. 参加者：31名
4. 報 告：

昨年度、県教育委員会主催の「やまなし読書活動促進事業」の一環として、阿刀田館長のご発案により「贈りたい本の市」を開催致しました。結果は多くの本を提供して下さった図書館利用者、県内各市町村公立図書館、甲府駅北口まちづくり委員会等、関係各位の皆様のご協力によって、成功裏に終了することができました。

その後の報告会の席上、来年も開催したいという意見が多く上がり、今年度の協力会総会の席で第二回「贈りたい本の市」の開催を決定致しました。

まず、昨年度中心的に運営に携わっていただいた会員の方に参加していただき、実行委員会を組織し、役員を含めて7月から定期的に会議を設け、昨年の成果、反省を踏まえて準備を重ねてまいりました。

続いて、県内各市町村公立図書館にご協力を依頼する文書を作成し、それぞれの地元に住する協力会の会員の方が訪問し配布を致しました。

10月に入り、皆様が提供して下さった本の回収を行いました。その結果皆様のご協力によって約1,300冊にも及ぶ本をご提供していただきました。

これらを形態別、ジャンル別に仕分け梱包を行い、「贈りたい本の市」開催当日に備えました。

今回の開催場所は甲府駅北口ペデストリアンデッキで、昨年度のように屋外（北口よっちゃばれ広場）ではないため、天候による影響を受けませんが、反面、単独開催（昨年度は北口マルシェと共同開催）となったため、いかに集客数を集めるかが課題となりました。

さて、いよいよ11月8日当日になり、昨年度に続きあいにくの雨天となりましたが、今回は屋内での開催のため、本や来訪するお客様が濡れる心配はありません。

また、展示スペースも広く確保できたため、本を平置きすることによって見やすくなり、昨年度課題となった会計時の煩雑さも二ヶ所設けることで解消することができました。

開催と同時に多くのお客様が集まり、早速気に入った本を手にとられお買い求めいただきました。特に児童書は人気が高く、正午過ぎには残り少なくなっていました。

しかしながら、天候のせいもあり客足は伸び悩み、最終的に売上冊数は用意した半数程度に留まってしまいましたが、売上金額は昨年度を上回ることができました。

そして、これらの売上金は昨年度同様、歳末助け合いに寄付することと致しました。

今回の反省点として、単独開催時での来訪者の確保をどうするか、そのためには「贈りたい本の市」の趣旨をどのように周知していくか、という点があげられました。

新たな課題は残りましたが、全体としては無事に、成功裏に終わることができました。

この成功は多くの本を提供して下さった皆様、関係各位の皆様、協力員各位のご協力によるものであり、改めて深謝申し上げます。

また、来年度も「贈りたい本の市」を開催したい、との意見が多くあがり、課題を解決しつつ「やまなし読書活動促進事業」における協力会のイベントとして定着させていきたいと考えております。

引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。